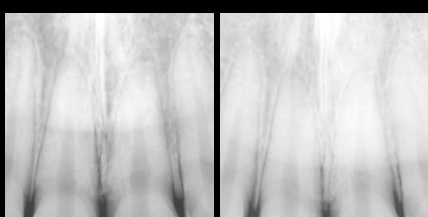




Micro ダイレクトボンディングハンズオン2日間コース



近年、接着の進歩と物性の向上、充填技術の普及により、ダイレクトボンディングの適応範囲が広がっています。前歯はもちろん、臼歯でもある程度の大きさまでは十分行えるようになりました。しかし、う蝕修復治療の知識とスキルが足りなければ、Longevityを叶えることは困難です。

このコースではマイクロスコープを用いることで、「接着」と「精度」を最高レベルまで高め、Repeated restoration cycleを止め、ほぼ天然歯に戻すテクニックを教えます。

日常臨床で数多く遭遇する隣接面う蝕について、診査診断からう蝕予防システム、コンサル、治療技術まで深く深く追究します。実習は1人1台のマイクロスコープを使い、個別スキルに合わせた指導を行います。自費ダイレクトボンディングを日常化できれば、経営の基盤になるだけでなく、毎日のう蝕修復診療が楽しくなり、充実した歯科医師ライフを過ごせます。受講生4人と講師2人の超濃密な時間をお約束します。

世界一精密な最強CR修復スキルと

自費CR10症例／月コンサルシステムを学ぶ

第23期

2026年

5月16日（土）

14:00～19:00

17日（日）

9:00～16:00

講師

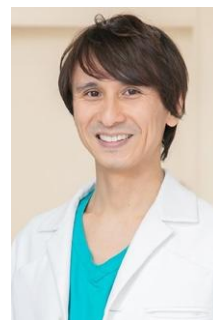


樋口 惣

日本顕微鏡歯科学会 指導医

樋口塾 主宰

FLAT 代表



木南 意澄

日本顕微鏡歯科学会 認定医

OJ 正会員

「自費歯医者」の作り方」主宰

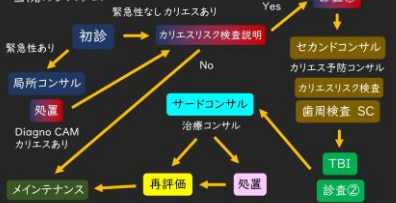


隣接面う蝕の診査方法一覧 No Evidence, but only Experience

	感度	特異度	コメント
問診	低い	そこそこ高い	う蝕が大きければ診査に専念するが、 介入の要の確定診断にもなるし、 しかし、う蝕が小さいときはあまり参考に ならない
パノラマ	やや高い	低い	エナメル質の厚さがわかる 補綴ならぬマウスピースが原因に なる
ダイアグノカム	85%	90%	咬合でも感度は低めなので、 ゴールシステムでう蝕がなければ不安 定なかわからないが、補綴は最も高い 患者へのわかりやすさは高い
X-ray(D)	75%	95%	
視診 特定歯	80%	99%	
CT	90%	95%	補綴の問題があるが、補綴は最も高い 感度が入っていると見えにくい場合がある

様々な診査で介入、管理、そして、ゴール設定の診断をする

当院のシステム

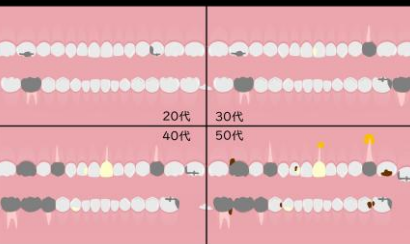


あなたは自分の歯をあと何年使わなければならないか？

日本人男性平均余命		令和元年厚生労働省調査							
0	10	20	30	40	50	60	70	80	
81.41	71.66	61.77	52.03	42.35	32.89	23.97	15.96	9.18	



長い余命を考えると「新しいむし歯を作らない予防」
と「歯の寿命をできるだけ延長できる治療法」が必要である



コンテンツ

講義

- ① う蝕治療の診査・診断、治療介入の基準
- ② 自費にするためのCR修復治療の流れ「本当の自費CR」
- ③ 確実に月5症例を契約するためのコンサルシステム
- ④ アイボリー型セパレーターを用いたKyu-Shuテクニック 実習（すべてマイクロスコプ下）

① 前歯Ⅲ級窩洞CR修復

② 臼歯Ⅱ級窩洞CR修復

※講義スライドおよび動画、コンサルスライド（Power Point）を
すべてデータでお渡しします

定員

歯科医師 5名 **アシスタント各1名帯同を推奨します**

コンサルシステムやラバーダム、アシスタントワークを教えます
自費CRシステム導入には是非、スタッフに力を貸してもらって下さい

受講費

250,000円（税込み）

場所

樋口歯科 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル4階

申込方法

何らかの形で樋口か木南まで受講の意志をご連絡ください
その後、受講費を振り込んでいただきます

講師連絡先

ikominami@gmail.com Tel. 090-3017-1550

受講費振込先

福岡銀行 けやき通り支店 普通 453051
株式会社Snow Dent 代表取締役 木南 由希子
（振込元が分かりやすいようご配慮ください）

